

## 令和7年度 静岡県立大学コミュニティフェローの認定申請について

(「ふじのくに」みらい共育センター)

(地域・産学連携推進室)

### 1 趣旨

「静岡県立大学コミュニティフェロー」の認定制度は、「しずおか学」等を通じて地域に関する知識を習得した上で、地域における活動への積極的な参加を通じて地域活動の技能を身に付けた学生に、「静岡県立大学コミュニティフェロー」の称号を認定するものです。

「静岡県立大学コミュニティフェロー」の称号を認定された学生には、培われた知識と技能を引き続き地域での活動に活かしてもらい、地域連携や地域活性化を牽引する人材として社会にはばたかれることを期待します。

また、コミュニティフェローのうち優れた能力を持つ者に特別表彰を行います。

### 2 申請の方法等

項目	コミュニティフェロー	特別表彰
申請者	本学に在籍する学生 (学部生、短期大学部生、大学院生)	左記のうち、 <b>各課程の最終学年</b> (※1)で過去コミュニティフェローに認定された者(※2) ※1 令和7年度は、経過措置で学部3年生も申請可能 ※2 コミュニティフェローとの同時申請可能
申請 期日	<b>令和8年2月17日(火)正午まで</b>	<b>令和8年2月10日(火)正午まで</b> ※別途、 <u>学部内の申請期日</u> を必要に応じて設けています。ご注意ください。
提出 方法	次の(ア)(イ)いずれかの方法 (ア)申請書に必要項目を記入し、いずれかに提出 ・草薙キャンパス：事務局（はばたき棟）地域・産学連携推進室 ・小鹿キャンパス：事務局学生室 (イ)Universal Passportの「アンケート回答」による電子申請 ※特別表彰と同時申請の場合は、特別表彰の提出方法によること	①担当教員と相談の上、申請書に必要項目を記入し、 <u>教員の推薦状を添えて各学部の運営委員に提出</u> ※3 ②各学部で選出 (上限：学部生2名・大学院生2名) ③各学部の運営委員より <u>地域・産学連携推進室に提出</u> ※3 コミュニティフェロー同時申請含む

※申請書は、Universal Passport 「大学からのお知らせ」及び「ふじのくに」みらい共育センターのホームページに掲載します。

### 3 申請の留意事項

#### (1) 特別表彰の選出について

やむを得ず上限を超える場合のみ、センター長、副センター長による面接を実施します(推薦教員同席)。

#### (2) しずおか学の履修について

知識要件として、しずおか学科目群2単位の修得を要件としていますが、大学院生及び短期大学部生は、担当教員が「地域に関する一定の知識を有する」と判断すれば申請できます。担当教員等に相談してください。

なお、しずおか学の履修については、単位取得見込でも申請できます。単位取得を前提に認定審査を進め、単位取得確認後に認定します。

(3) 認定の種類と基準等の詳細について

別紙 1 を参照ください。

4 認定者、特別表彰者数

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	合計
コミュニティフェロー	94人	73人	91人	133人	78人	926人
特別表彰	9人	8人	7人	7人	7人	63人

(別紙1) 認定の種類と基準等

(1) 概要

区 分	コミュニティフェロー	特別表彰
対象者	在籍中の学生（学部生、短期大学部生、大学院生）	在籍中の学生（各課程最終学年※1） ※1 令和7年度は、経過措置として、学部3年生も申請可能
認定基準	次の要件を全て満たす者 ・ <u>知識要件</u> ・ <u>技能要件</u>	次の要件を全て満たす者 ・ コミュニティフェローの称号を有すること※2 ・ <u>能力要件</u>
認定手続	・ 申請期間を定め、学生は、申請書を事務局に提出 ・ 認定に係る委員会において審査の上、センター長は学長に報告 ・ 学長が決定を行う。	・ <u>申請期間を定め、学生の申請書に教員の推薦状を添えて、学部で審査、選出した上、各学部の運営委員が事務局に提出</u> ・ 認定に係る委員会において審査の上、センター長は、学長に報告 ・ 学長が決定を行う。
交付方法	・ 卒業予定学生…学部卒業式で認定証を交付 ・ 在校生…担当教員等を経由し翌年度認定証を交付	・ 卒業式後の特別表彰授与式において学長から表彰する
有効期間	期間を定めない（永続的に有効）。	
認定の取消	・ 申請に虚偽があった場合 ・ 不正行為等、学長が適当でないと判断した場合	

※2 コミュニティフェローの称号を有していない場合、称号の付与と特別表彰を併せて申請することができる。

(2) コミュニティフェローの基準等

ア 要件について

知識要件、技能要件、能力要件の3つの要件を定義し、コミュニティフェロー及び特別表彰において必要となる要件を定める。

(ア) 3つの要件

要件の種類	達成したい学習内容及び能力	要件	具体的な例
知識要件	地域に関する知識を得る・理解する・得た知識を言葉に表現できる	しずおか学科目群の履修(2単位取得)	—
技能要件	地域活動に関する実践活動または対応技術の取得及び、人に教えることで更に自ら学ぶ	実践活動(1単位 90分×7回程度) 共有活動 ※個別またはサークルの活動は教員による認定あるいは推薦が必要	多職種連携演習の履修 総合食品学講座の履修 ビジネスコンテスト等への応募 地域志向研究等への参画 高校生への救急法指導
能力要件	地域活動に関する対応能力を取得し、活動組織のリーダーとしてマネジメントすることで、リーダーシップ能力を取得する	実践活動におけるリーダー	演習等のリーダー 高校生への指導リーダー 地域貢献活動の企画・運営(中心的作用を担った者)





(イ) 必要とする要件

○：必要な要件、◎：最も重視する要件

フェローの種類	学習過程	要件の種類		
		知識要件	技能要件	能力要件
コミュニティフェロー	地域に関する基礎的な理解と、主体的に行動できる能力の習得	○	◎	—
コミュニティフェロー (特別表彰の対象者)	地域活動に対し、主導的に発動し遂行できる能力の習得	○	○	◎

(3) コミュニティフェローの認定要件の具体例

原則として、技能要件・能力要件は、申請にあたり本学教員が活動の量及び質が充分であることを確認する。

区分		要件	取得例	備考
 コミュニティフェロー (特別表彰の対象者)	知識要件	しずおか学科目群 2単位取得		
	 コミュニティフェロー 	地域における実践活動 (1単位: 90分×7回 相当の活動を想定)	<b>【科目として提供する活動】</b> ・多職種連携演習 (薬・食・看) ・合同演習 (薬・看) ・救急法受講 ・地域づくりインターンシップ ・ゼミにおける地域での活動	
			<b>【共育活動】</b> ・高校生へのHUG指導 ・高校生への救急法指導	
			<b>【地域志向研究等への参画】</b> ・地域志向研究へ年間を通じて参画 ・COCが提供する学部横断活動への参画 ・教員が行う地域と連携した活動への参画	・研究代表者等の教員は、学生の参画の状況を確認し、活動の質を担保する。
			<b>【サークル活動】</b> ・地域を対象とした活動 ・学習支援、こども食堂等の活動	・サークルの顧問等の教員が、学生の参画の状況を確認し、活動の質を担保する。
			<b>【その他】</b> ・総合食品学講座の受講 ・ビジネスコンテスト等への応募 ・継続的なボランティア活動	・ボランティア活動については、その活動への関与が十分に証明できるものとし、担当教員が確認を行う。
	能力要件	実践活動リーダー	技能要件の取得例において、リーダーとして チームを牽引する活動を行った者 (例) 演習リーダー 企画・運営等を主体的に行った者 表彰 (学内外) を受けた活動 等	・教員が活動実績等を通じて、リーダーとしての能力を備えていると推薦する者 ・認定に係る委員会での審査を要する。